

彩の国プラチナ混声合唱団 信州に向け最後の練習!

4月6日、彩の国プラチナ混声合唱団(埼玉県合唱連盟)は、4月13-14日に行われる信州アルプスシニア合唱祭に向けた最後の練習を行いました。今回は総勢58人がバス2台に分乗して長野県伊那市へ駆けつけます。

それぞれ所属団がちがうため衣装は揃いませんが、小野瀬照夫理事長



の指揮に合わせ心一つにして歌います。

二日目はオープンで高遠城址公園のさくら祭りなどを見物します。この公園のコヒガンザクラは、長野県天然記念物で樹齢約

130年の古木20本、50年以上500本、30年以上300本、その他合せて計1,500本が咲いています。コヒガンザクラは、マメザクラとエドヒガンの交配種、この中で濃い紅色のタカトコヒガンザクラは高遠固有の貴重種とされています。



4月からウイズコロナで練習再開

男声合唱団ゴールデンエイジふくい

ウイズコロナが日常になってきました。ゴールデンエイジふくいは、2-3月は一昨年3月以来2度目の練習休止でしたが、「うつらない、うつさない」を基本に練習を開始しました。福井県内の感染状況はピークを過ぎ減少傾向ですが、200名/日前後と高止まりです。練習再開は時期尚早との意見の一方で、感染予防をして歌いたいメンバーもいました。このまま休止を続ければ団存亡の危機にも繋がることから、希望者のみの参加とし、家庭環境なども踏まえ自己責任で参加することとしました。練習時は、左右前後の距離2mを確保し、マスク着用、

手指消毒と換気に留意して当たります。このような状況のため、4月の信州アルプスシニア合唱祭を辞退することになりました。

お知らせ 下総皖一没後60年記念コンサート

下総皖一没後60年記念コンサート

古澤真紀子
みどりのそよ風
コンサート

出演 古澤真紀子 (メゾソプラノ)
Makiko Furusawa 富市町在住

みかんの花咲く丘
この道
めし山
みどりのそよかぜ
叱られて
落葉松

<下総皖一作品・メドレー>
母の歌/たなばたさま

5月15日 栗橋文化会館イリスホール(久喜市)

5月22日 宮代町コメン・進修館小ホール(宮代町)

5月25日 花と音楽の館かわさと・花久の里(鴻巣市)

5月29日 響きの森 桶川市民ホール(桶川市)

入場料1500円(4館とも開演14:00 開場13:30)

チラシはこちら <http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/>

作曲家下総皖一は、明治31年埼玉県北埼玉郡原道村(現加須市)に生まれ、のちに東京藝術大学音楽部長となり、團伊玖磨、佐藤真、芥川也寸志等多くの作曲家、音楽家を育成しました。元男声合唱団コール・グラントの指揮者鎌田弘子先生も門下生のお一人でした。

下総皖一は、奇しくも昭和37年7月8日、「たなばた」の翌日64歳で死去しています。今年がちょうど没後60年にあたり、これを記念して、古澤真紀子(メゾソプラノ)さんによる下総作品の演奏会を開催します。

作品は管弦楽曲のみならず童謡や唱歌にもわたり、さらに校歌の作曲も手掛けています。有名なものには、「野菊」「花火」「スキー」「はたる」「母の歌」「たなばたさま」「ゆうやけこやけ」などがあります。

チケットは利根河畔文化の会事務局 090-5413-7657
(新井様)

が扱っています。郵送も可能です。

お近くの方はぜひお聴きください。

本のご案内(アマゾン)

男声合唱は、いま!

多田武彦先生追悼集

加藤良一著

これ一冊で男声合唱大会を見渡せます

↑ click here!